

一般構造用炭素鋼鋼管

■ 特徴

一般構造用炭素鋼鋼管は農業用骨材、型枠仮設補強、足場用また、各種工作用の資材として使用されます(JIS G 3444)。鋼管への孔開けや曲げ、絞りなどといった加工もお客様のニーズに合わせて行っています。

また、令和3年1月より一般構造用炭素鋼鋼管(JIS G 3444)製品についてJIS認証機関よりJIS製品と認定されましたので、今後は幅広い分野で、使い勝手の良い鋼管製品の製造を行っていきます。

■ 製造方法

鋼板メーカーから仕入れた薄板を必要幅に合わせてカット(スリット)した薄板が原材料となります。

薄板を徐々に曲げ、パイプ状に加工し、パイプの縁を電気抵抗によって溶接し、形を整えます。

最後に形状を整える工程でより円形になるように仕上げを行います。

■ 製品寸法

規格寸法	単重 (kg/本)	結束本数 (本/束)
φ 42.7×2.3×6,000	13.7	79
φ 42.7×2.3×6,100(SW)	14.0	79
φ 48.6×2.3×4,000	10.5	50
φ 48.6×2.3×6,000	15.8	50
φ 48.6×2.3×6,100(SW)	16.0	50
φ 48.6×2.4×6,000 [※]	16.4	50
φ 50.8×2.3×7,000 [※]	19.2	—
φ 60.5×3.2×7,000 [※]	31.6	—

・在庫品はGIのみ ・SD、黒も生産可能(受注生産)
・※は受注生産
・製品長さは調整可能

※表はGI製品の数値



JIS認証書

■ 加工種類

一般構造用炭素鋼鋼管 加工種類	
絞り加工	端部ツブシ加工
寸法切り	端部ツブシ穴加工
孔開け加工	パイプ曲げ加工

※表に記載された加工を施した製品に関しては、JIS相当品(JIS外製品)となります。



製品在庫



拓南製作所株式会社
フォーミング事業所

〒901-2403 沖縄県中城村字伊舎堂312
TEL (098) 895-2152 FAX (098) 895-5777

表面処理種類

規格番号	規格名称	表面処理略号
JIS G 3101	一般構造用圧延鋼材 (SS400)	—*
JIS G 3302	溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯	GI
JIS G 3321	溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(ガルバリウム)	GL
JIS G 3323	溶融亜鉛-アルミニウム-マグネシウム合金めっき鋼板及び鋼帯 (スーパーダイマ®) スーパーダイマ®は日本製鉄の登録商標です。	SD

※表面処理なし：黒

表面処理の付着量と表示記号

表面処理記号	GI			GL	SD
付着量表示記号	Z18	Z22	Z27	AZ150	K27
最小付着量 (両面合計)	180	220	275	150	275
相当めっき厚さ(mm)	0.034	0.043	0.054	0.054	0.068

製品規格

項目		許容差	項目		許容差
外径	50mm未満	±0.5mm	厚さ	4mm未満	+0.6mm
	50mm以上	±1%			-0.5mm
外観	管は、実用的にまっすぐ、かつ、その両端が管軸に対して直角でなければならない。 また、管の内外面は仕上げが良好で、かつ、使用上有害な欠点があってはならない。				

機械的性質

※D=管の外径

種類の記号	引張試験			曲げ試験		へん平試験
	降伏点 N/mm ²	引張強さ N/mm ²	伸び %	曲げ角度	内側半径	へん平高さ
STK400	235以上	400以上	23以上	90°	6D	2/3D
STK490	315以上	490以上		90°	6D	7/8D

※種類の記号に「M」のついている製品はJIS製品ではなく、JIS製品と同等の機械的性質を保持する「JIS相当品」となります。(例：STK400M・STK490M)

※外径40mm以下の管については、伸びは規定しない。

※曲げ試験は任意試験となっているため、注文がある場合に実施します。